



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 オプテックス株式会社

コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼代表取締役社長 (氏名) 小林 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理統括本部長 (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	21,136	2.3	2,250	△4.0	1,908	△19.9	1,161	△22.2
27年12月期第3四半期	20,656	10.3	2,343	12.8	2,382	3.8	1,493	6.1

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △289百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 1,165百万円 (△25.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	70.19	70.14
27年12月期第3四半期	90.24	90.21

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年12月期第3四半期	38,163		27,112		60.4
27年12月期	30,861		25,603		78.0

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 23,033百万円 27年12月期 24,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年12月期	—	20.00	—		
28年12月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	15.1	3,300	4.4	2,900	△10.0	1,750	△14.7	105.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名)シーシーエス株式会社、除外 1社 (社名)
詳細は添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	16,984,596 株	27年12月期	16,984,596 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	434,970 株	27年12月期	436,285 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	16,548,839 株	27年12月期3Q	16,548,860 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、国内におきましては、所得や雇用の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、海外の経済動向や政情不安に加え、為替相場において円高基調が継続し、株式市場が大きく変動するなど不安定な動きを見せました。一方、海外におきましても中国をはじめとするアジア新興国経済の下振れ懸念、さらには英国のEU離脱問題等もあり先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、「『新しい』を生み出す」を経営方針に掲げ、「成長戦略」、「事業構造変革」、「生産性改善」、「体質強化」のこれら4つのテーマを推し進め、5月には画像処理用LED照明装置分野でトップシェアを有するシーシーエス株式会社を株式公開買付けにより連結子会社化するなど、事業の拡大に努めてまいりました。しかしながら、当社グループを取り巻く環境は、依然として急激な円高の進行による輸出環境の悪化や設備投資需要の低迷が続く展開となるなど、全体として厳しい状況となっております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、211億36百万円と前年同期に比べ2.3%の増収となりました。利益面につきましては、欧州通貨下落の影響に加えグループ再編の準備費用や買収費用など一時的な販売費及び一般管理費の増加により営業利益は22億50百万円（前年同期比4.0%減）となりました。また、為替差損の発生などにより経常利益は19億8百万円（前年同期比19.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億61百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高129億10百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益12億98百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

防犯関連につきましては、売上高92億96百万円（前年同期比12.2%減）となりました。国内におきましては、警備会社向け住宅用屋外警戒センサの販売が伸び悩み、前年同期実績を下回りました。また海外におきましても、欧州で住宅向け屋外警戒用センサの販売は堅調に推移したものの、円高の影響を大きく受けたことに加え、北米で住宅向けセンサの販売が落ち込んだことやアジア、オセアニア向けの販売が伸び悩んだことにより前年同期実績を下回る結果となりました。

自動ドア関連につきましては、売上高31億22百万円（前年同期比5.3%減）となりました。国内では商業施設の建設設備投資低迷などにより前年同期実績を下回りました。また海外におきましても、出荷数量は堅調に推移したものの円高の影響により前年同期実績を下回る結果となりました。

② FA事業

FA事業は、国内におきましては、有機EL、太陽光パネル、半導体、二次電池等、電子部品業界向けの販売が順調に推移いたしました。しかし、海外におきましては、主に中国においてスマートフォン、太陽光パネル業界向けの販売が順調に推移したものの、為替の影響により前年実績を下回りました。この結果、売上高は44億87百万円（前年同期比6.6%増）となりました。営業利益は、収益性の高いLED照明、変位計等のアプリケーション機器の売上が伸長したことなどにより、4億42百万円（前年同期比122.1%増）となりました。

③ マシンビジョン照明事業

国内におきましては、テストングルームの増設、レンズ・カメラなどの周辺商材を含めたソリューション提案の取組みにより受注機会が増加し売上は堅調に推移いたしました。海外におきましては、欧州では半導体市場の回復基調により大手顧客向けの売上が伸長いたしました。アジアでは、中国の景気減速の影響を受け低調な推移となりました。この結果、売上高は19億19百万円、営業利益は1億49百万円となりました。

④ 生産受託事業

中国における生産受託事業につきましては、受託案件の減少により売上高5億21百万円（前年同期比45.1%減）となりました。営業利益はグループ内売上高の減少により1億66百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は381億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ73億2百万円増加しました。

流動資産は248億61百万円となり、32億25百万円増加しました。これは主にシーシーエス(株)を子会社化した影響等により受取手形及び売掛金が13億7百万円、商品及び製品等の棚卸資産が11億68百万円、現金及び預金が5億96百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は133億2百万円となり、40億77百万円増加しました。これは主に投資有価証券が10億5百万円減少したものの、シーシーエス(株)を子会社化した影響等により商標権や顧客関係資産等の無形固定資産が36億44百万円、土地等の有形固定資産が11億97百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は110億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億93百万円増加しました。これは主にシーシーエス(株)を子会社化した影響等により短期借入金30億95百万円、繰延税金負債が8億97百万円、支払手形及び買掛金が4億15百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は271億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億9百万円増加しました。これは主に円高の影響を受けて為替換算調整勘定が14億78百万円減少したものの、シーシーエス(株)を子会社化した影響等により非支配株主持分が25億45百万円、配当金を支払ってなお利益剰余金が4億99百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績見通しについては、平成28年7月22日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、シーシーエス(株)の株式を取得したことにより、同社及びその子会社を連結の範囲に含めております。なお、シーシーエス(株)は当社の特定子会社に該当しております。また、全株式を取得したGARDASOFT VISION LIMITED及び新たに設立したOPTEX (THAILAND) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、オプテックス新事業準備(株)を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、センサビジョン(株)は、オプテックス・エフエー(株)を存続会社として合併したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しています。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しています。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,901	10,497
受取手形及び売掛金	5,907	7,214
有価証券	800	585
商品及び製品	2,457	2,784
仕掛品	81	341
原材料及び貯蔵品	1,254	1,834
繰延税金資産	483	579
その他	783	1,055
貸倒引当金	△34	△32
流動資産合計	21,635	24,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	982	1,294
機械装置及び運搬具(純額)	344	306
工具、器具及び備品(純額)	408	589
土地	1,203	1,966
建設仮勘定	83	61
有形固定資産合計	3,022	4,219
無形固定資産		
特許権	1	820
商標権	55	854
顧客関係資産	124	1,462
のれん	311	956
その他	474	517
無形固定資産合計	966	4,611
投資その他の資産		
投資有価証券	4,254	3,248
長期貸付金	30	32
繰延税金資産	568	702
その他	435	543
貸倒引当金	△52	△55
投資その他の資産合計	5,236	4,471
固定資産合計	9,225	13,302
資産合計	30,861	38,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,133	1,549
短期借入金	656	3,751
1年内返済予定の長期借入金	—	190
未払金	649	694
未払法人税等	334	329
繰延税金負債	14	15
賞与引当金	159	454
役員賞与引当金	15	33
その他	509	699
流動負債合計	3,474	7,718
固定負債		
長期借入金	—	233
繰延税金負債	149	1,046
再評価に係る繰延税金負債	23	105
退職給付に係る負債	914	1,065
役員退職慰労引当金	259	233
その他	436	648
固定負債合計	1,783	3,333
負債合計	5,257	11,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,655
利益剰余金	17,190	17,690
自己株式	△544	△542
株主資本合計	23,098	23,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	63
土地再評価差額金	△6	△5
為替換算調整勘定	880	△597
退職給付に係る調整累計額	△27	△28
その他の包括利益累計額合計	984	△567
新株予約権	37	50
非支配株主持分	1,483	4,028
純資産合計	25,603	27,112
負債純資産合計	30,861	38,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,656	21,136
売上原価	9,691	9,541
売上総利益	10,964	11,594
販売費及び一般管理費	8,621	9,343
営業利益	2,343	2,250
営業外収益		
受取利息	80	62
受取配当金	55	35
持分法による投資利益	5	4
投資有価証券売却益	—	1
投資事業組合運用益	33	—
受取賃貸料	13	16
保険返戻金	2	1
その他	19	18
営業外収益合計	210	140
営業外費用		
支払利息	2	8
為替差損	140	410
賃貸費用	13	15
投資事業組合運用損	—	2
その他	14	45
営業外費用合計	171	482
経常利益	2,382	1,908
特別利益		
固定資産売却益	3	17
投資有価証券売却益	16	—
特別利益合計	20	17
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	10	—
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	2,391	1,925
法人税、住民税及び事業税	823	574
法人税等調整額	32	20
法人税等合計	856	595
四半期純利益	1,535	1,329
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	168
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,493	1,161

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,535	1,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	△75
土地再評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	△248	△1,545
退職給付に係る調整額	△2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△370	△1,619
四半期包括利益	1,165	△289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,126	△390
非支配株主に係る四半期包括利益	38	100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A 事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,486	4,210	949	19,645	1,010	20,656	—	20,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	1	3,721	3,766	47	3,814	△3,814	—
計	14,530	4,211	4,670	23,412	1,058	24,470	△3,814	20,656
セグメント利益	1,767	199	269	2,235	100	2,336	7	2,343

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシ ング事業	F A 事業	マシンビ ジョン照 明事業	生産受託 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,910	4,487	1,919	521	19,838	1,297	21,136	—	21,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	1	—	3,041	3,129	59	3,188	△3,188	—
計	12,997	4,488	1,919	3,562	22,967	1,356	24,324	△3,188	21,136
セグメント利益	1,298	442	149	166	2,056	185	2,242	7	2,250

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第2四半期連結会計期間において、シーシーエス(株)の株式を取得し、同社及びその子会社を連結の範囲に含めたことなどに伴い、当事業の新たな報告セグメントとして「マシンビジョン照明事業」を追加しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

上記の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、第2四半期連結会計期間において報告セグメントに追加された「マシンビジョン照明事業」の資産は10,858百万円であります。

なお、当該金額については暫定的に算定された金額であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、シーシーエス㈱の株式を取得し、同社及びその子会社を連結の範囲に含めたことに伴い、「マシンビジョン照明事業」セグメントにおいて、のれんが732百万円増加しております。また、GARDASOFT VISION LIMITEDの全株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、「その他」セグメントにおいて、のれんが200百万円増加しております。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。